

# 中津干潟が公的保全の枠組みに 指定されることを目指すプロジェクト

活動地域  大分県



写真・映像展で中津干潟PRキャンペーン

## 課題

中津干潟は、公的保全の枠がかけられていない。何らかの公的枠組みの指定を受けるため、生物の基礎調査、勉強会、キャンペーンを通じて、公的枠組みの指定を目指す。

## 目標

中津市民に中津干潟及びそこに暮らす生物群等について多く知ってもらうこと。そのための調査実績の蓄積、行政機関への働きかけ等を実施、公的枠組みへの指定を実現する。



## 今後の展望

調査活動を活用し、行政、議会、各種団体や市民に対し広くキャンペーンを実施する。保全の枠組みについては、OECMやベッコウトンボの市天然記念物指定関係の事務的に必要な調査情報提供を当局に行う。

ひろげる助成

2年目

実践

## 活動内容と成果

渡り鳥・ベントス調査を予定通り実施。ドローンを利用したカプトガニ調査で新たな産卵地を発見。また、渡り鳥の行動やスナメリが泳いでいる映像も撮影できた。スナメリの写真は広報用の布製看板のモチーフとした。写真・映像展は道の駅、大型店、図書館等で4回開催。公的保全の枠組み勉強会では、ラムサールシティという新しい情報に触れることができた。OECM指定については、干潟そのものは難しいが、一部沿岸地については可能性が見えてきた。野依新池関係ではベッコウトンボの市天然記念物指定の可能性が出てきた。



公的保全の枠組み勉強会風景

主要調査の回数 **20回**

大型店におけるミニ写真映像展等 **4回**

今年度計画の達成度 **90%**

全体計画の達成度 **60%**

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

写真・映像展では、土日の開催でスケジュール調整が難しく、要員の確保に苦勞した。

### ■工夫した点

昨年度大型店で出展したことがきっかけで、環境系の企画時は、無料で写真・映像展の会場として利用できるようになった。

〒871-0024

大分県中津市中央町

2丁目8番35号

電話：0979-77-4396

E-mail：info@mizubenisobukai.org

HP：http://mizubenisobukai.org

